

した。住宅販売も落ち込んでおり「壁の隙間を埋める充てん剤に使うシリコンゴムの生産が伸び悩んでいる」（商社のタックトレーディング）。原料の金属シリコンの引き合いが鈍った。

金属シリコンは自動車のエンジン部品などアルミ合金製の鋳物を造る用

年間7〜8%程度の需要増が見込まれている。

供給も増える見通しだ。米国でシェールガスに含まれるエタンを原料としたエチレン設備の建設が進む。エタンはナフサより割安なため、米国産のエチレンを原料とする石化製品の価格競争力は高い。中国では石炭を原料とした石油化学プラントの建設が計画されている。

全量を輸入に頼り、9割だ」（金属商社）という。

レンも値下がりした。

豚肉の生食禁止

影響限定的の見方

居酒屋など対応急ぐ

居酒屋などは対応が必要になる。

食肉卸ミートコンパニオンの植村光一郎常務は「豚レバーはレバーニラいためなど火を通す調理が多く、牛のときほど相場は反応しない」とみる。

2012年に「O(オー)157」など食中毒を防ごうと牛レバー刺しが禁止となり、牛の内臓肉は卸価格がすぐに2〜3割下がった経緯がある。

一方、豚はレバーだと1キログラム500円程度で居酒屋などが仕入れている。生食の需要が消えても、いため物で使えるので価格は下がりづらいという。もつ煮込みに使う豚の小腸はもともと同200円程度と安いうえ、生では出しづらいので価格

は変化しにくい。

そもそも豚肉を生で提供するのには、牛レバーが禁止になって消去法的に選んだケースがほとんどのようだ。「豚は生だと牛より危険なので、卸業者は加熱を前提に売っている。あくまで一部の外食がリスクをとって自主的な基準で生食提供している」（大手食肉）

東京・新宿のある居酒屋は「これから豚の内臓は少しゆでてから出すなど、生に近い食感を工夫しないと」と対応を急ぐ。国立感染症研究所によるとE型肝炎の患者報告数が14年に過去最多となり、豚肉の生食も一因といわれる。政府は近く、禁止する時期などを示すとみられる。

豚肉を生で提供することを禁じる方針を政府がほぼ固めたが、相場への影響は限定的との見方が広がっている。牛の生レバーを禁止したときは需要減から牛の内臓肉の価格が急落したが、豚は生食が相対的に少ない。「生」を求める客層に向けて牛レバーから豚レバーへと商品を変えていた

卸売市場

26日

(1キログラム、円、消費税込み)

牛肉

<全国と畜概算頭数 4030頭>

等級)	1	2	3	4	5
弱含み				上場	423頭
雌 A	1940	2044	2222	2454	
雌 B	1786	1918	1776		
雄 A	1001	2100	2240	2406	

上中並	530	757	545	30
等外	486	766	508	73
◇仙台一反落	392	761	488	74
上中並	313	576	391	20
等外	475	529	501	38
◇宇都宮一反落	421	505	478	34
上中並	324	501	450	10
等外	302	467	393	4
◇茨城一反落	497	523	513	82
上中並	475	512	498	94
等外	400	507	466	38
◇茨城一反落	257	451	365	22

取引頭数776頭

安値	高値
940	1080
605	691
994	1166
907	1050
605	724
1296	1450
752	838

魚介 (中央卸)

◇東京・築地一強もちあい (都調べ、取扱数量1700トン)

マグロ